



富士見市議会だより

富士見特別支援学校に議会がインタビュー



取材：令和7年12月

これまで富士見特別支援学校で行ってきた主権者教育についてお聞かせください

これまで本校では、「主権者教育」という名称で取り組んできたわけではありませんが、学校行事のスローガンの決定など、候補を出し合い、みんなで選ぶといった民主的な学びを日常の教育活動の中に取り入れてきました。また、授業内容は、「毎年必ず同じことを行う」といった形ではなく、学習指導要領を踏まえ、その年度の子どもの実態に応じて柔軟に対応してきました。将来選挙に参加する子どもたちに対し、段階に応じて「自分で選ぶ」、「自分の意見を持つ」ということを大切にする学びを積み重ねてきました。



富士見特別支援学校の教員の方々

今年度実施した主権者教育の内容についてお聞かせください

今年度は、中学部2年生7名を対象に、特別活動の時間を活用し、複数回の授業と模擬選挙、富士見市議会議場の見学を組み合わせた主権者教育を行いました。授業では、まず自分たちの暮らしに欠かせないものを出し合い、それらを支える行政や議会、税金の役割について学びました。その後、「自分が議員だったら」という視点で公約を考え、模擬選挙では実際の投票箱や記載台を使った投票体験を実施しました。さらに、議場では、大人数の前で演説を行うという、これまでにない緊張感のある体験にも挑戦しました。



議場での主権者教育の様子

主権者教育の取組を進める中で大変だったことはありませんか

今年度は、2学期に大きな行事が重なり、時間の確保が難しいといった課題がありました。しかし、市議会議員や市役所職員の皆さんの迅速かつ丁寧な協力により、投票箱の貸出しや議場見学などが実現しました。当初は「議会」という存在に距離を感じ、不安もありましたが、実際には子どもたちを温かく迎え入れ、その姿をありのまま受け止めていただいたことが、教員にとっても大きな支えとなりました。

子どもたちの変化についてお聞かせください

子どもたちには確かな変化が見られました。緊張しながらも演説をやり遂げた生徒の達成感に満ちた表情が見られるなど、一人一人の小さな一歩が、将来につながる大きな経験となりました。

市議会に今期待することを教えてください

教員が感じているのは、「本物に触れる体験」の重要性です。話を聞いたり、写真を見たりするだけではイメージしにくい生徒にとって、実際の投票箱や記載台に触れること、現場で働く人の話を直接聞くことは、何よりも深い学びにつながります。こうした体験の機会を、今後も継続してもらえたいことを望んでいます。

また、今回の授業の流れや教材、指導の工夫を校内で蓄積していくことで、将来的には他の学部、学年でも活用できる「特別支援学校版・主権者教育」として発展させていく可能性もあります。児童生徒の実態や状況に応じて他の学年にも内容が引き継がれ、特別支援学校ならではの主権者教育が形として残っていくよう、校内での話し合いや共通理解を深めていく必要があります。



快く取材を受けていただきました

トピックス

令和7年第4回(12月)定例会が11月25日(火)から12月17日(水)までの23日間にわたって行われました。今定例会では、令和7年度富士見市一般会計補正予算をはじめ、21件の議案等が市長から提出され、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。



市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題
や富士見市の課題などについて市議会
議員が市に対して質問を行いました。



①公共施設の再配置について
Q 公共施設マネジメントの考え方は。
A 施設全体を最適な形にする再編事業に取り組み、市民理解のため丁寧に進めていく。
Q 学校教育施設の考えは。
A 地域の特性に合わせた再編方針の内容について市民と検討していく。

②町会運営について
Q 課題に対する支援は。
A 担い手不足に対応するため、仕事をしている方への仕組みづくりの一つとして、今年度、試験的にデジタル回覧板の導入を進める。
③リチウムイオン電池の処分方法について
Q 廃棄物の配布を。
A 有害ごみ用容器で回収できるので予定はない。



①DX推進について
Q AIチャットボットの満足度はどの程度か。
A 解決したと答えたのは約半数であった。
Q 音声で一次対応する「AI電話」を検討しては。
A 民間では取り入れているケースも多くあり、行政機関においても研究していく。

②デジタル教材の活用について
Q 「桃太郎電鉄教育版」を活用し、地理や郷土について楽しみながら学ぶ教材の導入を。
A 既に導入している学校もある。各学校の好事例を収集していく。
Q 今後のデジタル教材活用について市の見解は。
A 児童生徒の学習効果が期待でき、興味関心を高められるもの、継続的に活用できるものは引き続き導入していく。



①安心安全対策について
Q 避雷設備について。
A 学校施設については、建築基準法における高さ20mを超える建築物として、本市では8校に設置してある。
Q 他市では教育活動中にも落雷事故が発生した。児童生徒にはどう対応しているのか。
A 屋外では雷雲や雷鳴を確

認したら活動を中止し校舎に避難し、下校時に危険が想定される場合は学校で待機する。
②スポーツ振興について
Q 富士見市第2運動公園における施設の破損について。
A 経年劣化や金属疲労と捉え応急補修し、同時期の物も撤去し仮ベンチを設置した。
③ルールとマナーについて
Q 鶴瀬駅東口駅前の大屋根根下通路の自転車通行について。
A 注意喚起の看板を設置しているが、効果が十分に得られていないので、増設や車止めの設置などの対策をする。



①公民館・交流センターについて
Q 公民館等の使用料の減免の要件を、市民向けに分かりやすく案内できないか。
A 使用料の減免は、案件ごとに内容をしっかり精査し判断する必要がある。その上で、より市民に分かりやすいよう、適用事例の例示等について検討

討していきたい。
Q 公民館等での販売行為は原則禁止だが、許可される場合もある。分かりやすく案内できないか。
A 様々なケースが想定され一律にその可否を示すことは難しい。市民に分かりやすい案内方法については研究する。
Q さらばーと福岡のようにさらばーと富士見でもさらーの作品展示ができないか。
A さらばーと富士見と連携した取組ができないか、相談をしている。今後どのような取組が行えるか研究する。



①公共交通と移動支援について
Q 訪問型サービス・活動Aによる移動支援等の現状は。
A 特定の限られた高齢者のボランティアのご尽力に支えられている。担い手の高齢化や偏り、新たな担い手の不足による、活動の持続性の面での課題があると考えている。

この取組を他の地域へ拡げることについては、市内のどこにおいても町会やボランティアなど多様な主体によるサービス提供を目指しており、町会やまちづくり協議会等に働きかけを考えている。
②新河岸川右岸河川敷の一部亀裂について
Q 本市と埼玉県との対応は。
A 埼玉県職員にて現地確認を行い、緊急性はないことを確認した。市は、原因究明の調査を依頼している。引き続き、サイクリングコース利用者の安全確保に努めていく。



富士見江川の様子



①持続可能な職場づくりについて
Q 職員採用をより積極的に実施してはどうか。
A 試験周知の工夫や、多様なニーズに合わせた試験を実施している。今後も、定員管理計画等との整合性を図りつつ、必要数を確保するため積極的な採用活動を実施する。

職員が働きやすい環境のためのさらなる対応は。
A 定期的な職員アンケートでニーズ把握と分析に努め、有効な対策の検討を進める。
②公民連携について
Q さらなる活用が必要では。市民サービス充実や地域活性化推進のため、あらゆる場面で外部の力を活用できる可能性を検討したい。
Q コミュニティセンターの指定管理について、さらなる導入を目指してはどうか。
A 総合的に判断し今後検討する。



①高齢者福祉の充実を
Q 賃貸住宅の同居支援は。
A 公営住宅・セーフティネット住宅の案内、あんしん賃貸住まいサポート店を紹介している。登録住宅の拡充に向けて大家さんへの周知を図る。
Q 配食サービスを複数社から選べるよう取り組んでは。
A 現在は食事の調理が困難

な高齢者及び身体障がい者のみの世帯へ、昼食を配達し、安否確認のため手渡ししている。今後、複数社からご本人やご家族が自分に合った事業者を選ぶことで、個々のニーズに応じた選択ができるよう検討していく。



①災害時の対応について
Q 災害時に透析患者が治療を継続できる体制強化を。
A 市民の生命を守る観点から必要性は認識しており、関係機関と協議しつつ先進事例を研究していく。
Q 自治体の罹災証明現地調査と保険会社の現地調査が重複している現状を踏まえ、協

定による官民連携の導入を。
A 官民連携による罹災証明の活用は有効と認識しており、今後の動向を注視しつつ、包括連携協定先と引き続き協議していく。
②ひきこもり支援について
Q 社会参加のきっかけづくりとして、釣り体験を活用した先進事例を、本市においても地域資源であるびん沼川を活用して取り組んでは。
A 有効性は認識するが、当面は家族支援や居場所づくりなど基礎的な社会参加の充実を図る。



①不登校傾向の児童生徒への取組について
Q 不登校予防の観点から、出前型の動物介在教育プログラムの導入を、希望する学校でモデル実施してはどうか。
A 富士見市のうちの授業+の取組の一つとして、実施可能な動物や頻度等、検討する。
Q 欠席日の給食費の返金は。

A 食材等の確保の観点から、後日精算や返金は難しい。
②夏休みの子どもの居場所について
Q 国などの補助制度を積極的に活用し、夏休み限定の児童クラブを整備・運営しては。
A 利用ニーズの把握、先進事例の収集等、今後研究する。
③市民にやさしいデジタル社会の推進について
Q 国のデジタル活用支援の公開教材を活用して応用編スマホ教室を開催してはどうか。
A 今後検討していく中で、提案内容を参考にしていく。



①まちの安全について
Q 避難所宿泊体験の促進を。
A コロナ禍で自粛に。今後訓練再開に向け促進を図る。
Q 厳しい季節を想定した訓練をすべきでは。
A 気候を意識した訓練は有効であると考え。ペット同行避難の課題は、ペット同行避難の課題は、ペット非飼育者への理解

促進のため、リーフレットなどで周知啓発に努めている。
Q 公園等でのペット同行キヤンプ避難について。
A 公園等は一時集合場であり、避難所としては設備や運営体制、安全面に課題がある。
Q 富士見江川の治水対策は。
A 河床の洗掘への対策や、水位計の設置による増水への早期対応に努めている。
Q 他自治体で導入しているAIによる水害監視について。
A 先進事例で活動実績がまだ少ない。AI判定の精度検証などを調査・研究していく。



①スポーツ推進について

Q 「する」、「観る」、「支える」の観点から本市の取組は。
A 「する」取組では、市内各種団体と協力して様々な事業を開催し、市民が参加できるようにしている。「観る」取組では、全国規模の大会を誘致し、競技への関心の向上を図っている。「支える」取組では、奨励金や補助金の交付による活動支援を行っている。
②スポーツをするための環境整備について
Q スポーツ施設以外の場所における環境整備の考えは。
A 道路においては、夜間ランニングをする方などの安全に配慮する観点も必要と考え、適切な照明の設置を進める。都市公園においては、遊びの中でスポーツに親しめるよう、公園敷地内に広場を整備している。今後、新たに都市公園を整備する際には、意見等をいただいで検討する。

奨励金や補助金の交付による活動支援を行っている。

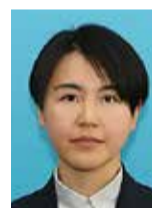
②スポーツをするための環境整備について

Q スポーツ施設以外の場所における環境整備の考えは。

A 道路においては、夜間ランニングをする方などの安全に配慮する観点も必要と考え、適切な照明の設置を進める。都市公園においては、遊びの中でスポーツに親しめるよう、公園敷地内に広場を整備している。今後、新たに都市公園を整備する際には、意見等をいただいで検討する。



令和12年1月供用開始予定の新庁舎(イメージ)



①教育環境について

Q iPadについて学校間の活用方法の標準化を。
A ICT推進リーダーの会議で、活用の型のような例を増やし、効果的な活用が広がるよう努める方針である。
②DX推進について
Q 障がい福祉分野における電子申請のさらなる拡大を。
A 他自治体の障がい福祉分野での導入状況を参考に、課題を整理し導入を検討する。
③住宅確保要配慮者の入居支援について
Q 令和11年に市営住宅の廃止が予定されているが、その役割をどう考えているか。
A 鶴瀬第2団地建替えに伴う戻り入居者の住宅保障という当初設置目的を完了した。セーフティネット住宅が少ない状況を改善するべき。
A 大家さん向けパンフレットを配布し、登録を促進して家主の不安解消に努める。

他自治体の障がい福祉分野での導入状況を参考に、課題を整理し導入を検討する。

③住宅確保要配慮者の入居支援について

Q 令和11年に市営住宅の廃止が予定されているが、その役割をどう考えているか。

A 鶴瀬第2団地建替えに伴う戻り入居者の住宅保障という当初設置目的を完了した。セーフティネット住宅が少ない状況を改善するべき。
A 大家さん向けパンフレットを配布し、登録を促進して家主の不安解消に努める。



①中学校の部活動の地域移行について

Q 受け皿の確保について。
A 関係団体や地域と連携し、調整を進めていく。
Q 今後の市の方針は。
A 子どもたちや保護者、教職員の部活動への思いは様々であるため、丁寧に着地点を検討していく。
②保育行政について
Q AIの導入により、入所決定通知時期を前倒しできる可能性について。
A 人とAIを使い分け、少しでも早く通知できるよう取り組んでいく。
Q 加配を含めた支援体制の見直しについて。
A 補助金の検討や、研修体制の充実を図っていく。
③フードパントリーについて
Q 冷凍食材保存のための冷凍庫の確保について。
A 保存場所の確保に向け、関係機関へ働きかけていく。

AIの導入により、入所決定通知時期を前倒しできる可能性について。

②保育行政について

Q AIの導入により、入所決定通知時期を前倒しできる可能性について。

A 人とAIを使い分け、少しでも早く通知できるよう取り組んでいく。
Q 加配を含めた支援体制の見直しについて。
A 補助金の検討や、研修体制の充実を図っていく。
③フードパントリーについて
Q 冷凍食材保存のための冷凍庫の確保について。
A 保存場所の確保に向け、関係機関へ働きかけていく。



①子どものインフルエンザワクチン接種について

Q ワクチン接種費用を助成することに市の見解は。
A 一定の効果があると認識するが、財政負担が大きいため助成する考えはない。
②勝瀬茶立久保地域の投票所の設置について
Q 投票所を地域の集会所に

設置することについて市の見解は。

A 集会所はバリアフリーやスペースの関係から難しい。

③高齢者施策について

Q 老人福祉センターびん沼荘の在り方の検討状況は。
A 利用者へのアンケートで利用団体の意見を聞き、来年11月に在り方を決定する。

Q 来年度から77歳への敬老事業の記念品の廃止が検討されているが、その理由は。
A 町会の配布負担軽減、近隣市町の状況、将来的な財政負担を総合的に勘案している。

結果、事業費が増加した。また、当初見込めなかったネットワーク整備費約12億円も含まれた。
Q 免震構造や地盤対策、杭工事などは、実施設計で数量が確定すると今後さらに増える可能性がある。市の見解は。
A 実施設計では数量が確定するため、金額が変動する可能性はある。
Q 借入金の返済期間は、どのように想定しているのか。
A 現時点では、返済を40年とシミュレーションして試算している。



①新庁舎建設について

Q 新庁舎建設の整備費は、基本計画では約126億円とされていたが、今回の説明では158億円、さらに物価高騰を見込むと183億円にまで増える可能性がある。整備費の根拠は。
A 基本設計が進み、今年度の建設単価を用いて積算した

結果、事業費が増加した。また、当初見込めなかったネットワーク整備費約12億円も含まれた。

Q 免震構造や地盤対策、杭工事などは、実施設計で数量が確定すると今後さらに増える可能性がある。市の見解は。

A 実施設計では数量が確定するため、金額が変動する可能性はある。

Q 借入金の返済期間は、どのように想定しているのか。

A 現時点では、返済を40年とシミュレーションして試算している。



①高次脳機能障害児・者施策の充実について

Q 第7期富士見市障がい者支援計画において、飯能市を参考に高次脳機能障害児・者への支援を計画に盛り込むべきでは。
A 再来年度からの計画策定に向け、現在、障害当事者実態アンケートに取り組んでい

る。ご意見を参考に、次期計画策定に向けて取り組んでいく。

②学校給食費の値上げについて

Q 来年度から小学校無償化が国の制度として始まる見通しであるため、自治体として中学校、特別支援学校の軽減を検討すべきでは。

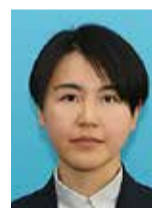
A 食料費分は、これまで同様保護者にご負担いただきたい。現状においては、まだ、中学生に対する補助をどうするかは何も決まっていない。

今後は他市事例も研究したい。
Q こども家庭庁からの通達では、支援員の雇用には「長期的に安定した形態」が求められるとあるが市の認識は。
A 事業者からは継続雇用は行うという提案を受けている。雇用形態、処遇維持などについて担保されるのか不明確だと考える。事業者が提案する常勤職員とは正規職員なのか。
A 同等以上の処遇を行うとの提案は受けているが、雇用形態、昇給、休暇、退職金など具体条件は確認していない。



①放課後児童クラブの指定管理者変更について

Q こども基本法では、子どもの意見を尊重し、政策に反映する努力義務が定められている。公募に当たり、なぜ子どもの声を聴かなかったのか。
A 事業者変更は子どもにとって理解が難しく、今回は子どもの意見は聴かなかった。



①教育環境について

Q iPadについて学校間の活用方法の標準化を。
A ICT推進リーダーの会議で、活用の型のような例を増やし、効果的な活用が広がるよう努める方針である。
②DX推進について
Q 障がい福祉分野における電子申請のさらなる拡大を。
A 他自治体の障がい福祉分野での導入状況を参考に、課題を整理し導入を検討する。
③住宅確保要配慮者の入居支援について
Q 令和11年に市営住宅の廃止が予定されているが、その役割をどう考えているか。
A 鶴瀬第2団地建替えに伴う戻り入居者の住宅保障という当初設置目的を完了した。セーフティネット住宅が少ない状況を改善するべき。
A 大家さん向けパンフレットを配布し、登録を促進して家主の不安解消に努める。

他自治体の障がい福祉分野での導入状況を参考に、課題を整理し導入を検討する。

③住宅確保要配慮者の入居支援について

Q 令和11年に市営住宅の廃止が予定されているが、その役割をどう考えているか。

A 鶴瀬第2団地建替えに伴う戻り入居者の住宅保障という当初設置目的を完了した。セーフティネット住宅が少ない状況を改善するべき。
A 大家さん向けパンフレットを配布し、登録を促進して家主の不安解消に努める。



①中学校の部活動の地域移行について

Q 受け皿の確保について。
A 関係団体や地域と連携し、調整を進めていく。
Q 今後の市の方針は。
A 子どもたちや保護者、教職員の部活動への思いは様々であるため、丁寧に着地点を検討していく。
②保育行政について
Q AIの導入により、入所決定通知時期を前倒しできる可能性について。
A 人とAIを使い分け、少しでも早く通知できるよう取り組んでいく。
Q 加配を含めた支援体制の見直しについて。
A 補助金の検討や、研修体制の充実を図っていく。
③フードパントリーについて
Q 冷凍食材保存のための冷凍庫の確保について。
A 保存場所の確保に向け、関係機関へ働きかけていく。

AIの導入により、入所決定通知時期を前倒しできる可能性について。

②保育行政について

Q AIの導入により、入所決定通知時期を前倒しできる可能性について。

A 人とAIを使い分け、少しでも早く通知できるよう取り組んでいく。
Q 加配を含めた支援体制の見直しについて。
A 補助金の検討や、研修体制の充実を図っていく。
③フードパントリーについて
Q 冷凍食材保存のための冷凍庫の確保について。
A 保存場所の確保に向け、関係機関へ働きかけていく。



①介護認定業務にAIの活用

Q 業務の一部で作業の効率化や職員の負担軽減が図られ、市民サービスの向上が期待できる。ぜひ導入を。
A 関心を持ち、業務の改善を図っていきたい。
②来年度予算の方向性等について
A 課題対策が必要となる。

国は「緊縮財政」から「責任ある積極財政」へと政策転換に大きく舵を切っている。本市も「身の丈に合った積極財政」を推進すべきでは。
A 着実に計画を進められるように、持続可能かつ推進力のある予算編成をしている。

Q 本市も単年度均衡収支から複数年度収支での財政運営を。
A 状況を注視していく。

③障がい児・障がい者の健康増進の促進を
Q 特別支援学校の屋内プールの活用を。
A 課題対策が必要となる。



①市民農園について

Q コロナ禍を経て、需要が高まっている。他自治体で実施している、市民が組合を作る市民農園を展開しては。
A 要望があった場合は、市として協力はしたい。
②市立図書館について
Q 自主財源の確保、雑誌充実のため、スポンサー企業が

購読料を負担し、雑誌カバー等に企業名を掲載する雑誌スポンサー制度を導入してはどうか。
A 来年度実施に向け、取り組んでいく。

③Fujiみシティマラソンについて
Q 富士見市スポーツ協会主催で開催されているが、大会発展のために、他自治体のように事務局のような立場として市が協力してはどうか。
A スポーツ協会側からの要請があれば、できる協力はしていきたいと考えている。

議員顔写真下の二次元コードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、それぞれの議員の市政一般質問一覧や、議場で質問したときの録画映像にアクセスできます。
なお、最新映像の公開には時間がかかる場合もございますので、ご了承ください。

議会映像をインターネットで配信中!
ライブ中継 本会議を生中継(字幕付き)
録画映像 本会議終了後1週間程度で配信
または
富士見市議会 中継 検索

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes dates from Feb 17 to Mar 18 and events like '開会・議案内容説明', '議案総括質疑', '総務常任委員会', etc.

令和7年第4回(12月)定例会 審議結果

全会一致の議案等

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
94	富士見市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	104	令和7年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
95	富士見市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	105	公の施設の指定管理者の指定期間の変更について
96	富士見市地域公共交通会議条例の一部を改正する条例の制定について	106	公の施設の指定管理者の指定期間の変更について
97	富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	109	富士見市道路線の認定について
98	富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	110	富士見市道路線の変更について
99	富士見市廃棄物の減量、再生利用及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	111	工事変更請負契約の締結について
101	令和7年度富士見市一般会計補正予算(第4号)	112	工事変更請負契約の締結について
102	令和7年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	113	令和7年度富士見市一般会計補正予算(第5号)
103	令和7年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	報告12	専決処分報告について

※報告については、審査の対象ではありません

○賛成 ×反対

賛否の分かれた議案等

議案等番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ		草の根		公明党		日本共産党		(国)	(立)	(維)							
			松本剛	小泉陽	佐野正幸	田中栄志	斉藤隆浩	村元寛	加賀奈々恵	熊谷麗	勝山祥	今成優太	篠田剛	篠原通裕	山下淑子	深瀬優子	木村邦憲	宮尾玲	須崎悦子	川畑勝弘
93	富士見市第6次基本構想第2期基本計画を定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
100	富士見市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
107	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
108	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
陳情9	公民館などの高齢者控除を求める陳情	採択	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×							
議21	地域医療を守るため緊急対策の実施を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×							
議22	OTC類似薬の医療保険適用継続を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×							
議23	自由民主党と日本維新の会による衆議院議員の定数削減を行わないことを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×							
議24	埼玉県福祉水準を保つことを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×							
議25	防衛費の対GDP比2%達成の前倒しを中止し、防衛費削減を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×							

※表中、(国)は無党派(国民民主党)、(立)は無党派(立憲)、(維)は無党派(日本維新の会)を省略し表記しています。

※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。

※議長の賛否の表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

12月定例会 議案審議報告

議案第93号

富士見市第6次基本構想第2期基本計画を定めることについて (賛成多数可決)

第6次基本構想第1期基本計画が令和7年度で終了することから、第6次基本構想の実現に向けた新たな行政経営の指針である第6次基本構想第2期基本計画を定めるものです。

《計画期間》

令和8年度から令和12年度まで

議案第101号

令和7年度富士見市一般会計補正予算(第4号) (全会一致可決)

既定の予算に6,416万6,000円を増額し、予算の総額を438億9,065万7,000円とするものです。

《主な内容と金額》

・不足が見込まれる学校給食の賄材料費の増額等を行うための補正

[1,655万3,000円]

・不足が見込まれる防犯灯の修繕料を増額するための補正

[943万3,000円]

議案第105号

公の施設の指定管理者の指定期間の変更について (全会一致可決)

《対象施設》

富士見市民文化会館キラリふじみ

《指定管理者》

公益財団法人キラリ財団

《指定期間》

変更前…令和3年4月1日から

令和8年3月31日まで

変更後…令和3年4月1日から

令和11年3月31日まで

議案第106号

公の施設の指定管理者の指定期間の変更について (全会一致可決)

《対象施設》

富士見市立針ヶ谷コミュニティセンター

《指定管理者》

日本環境マネジメント株式会社

《指定期間》

変更前…令和3年4月1日から

令和8年3月31日まで

変更後…令和3年4月1日から

令和10年3月31日まで

議案第107号及び議案第108号

公の施設の指定管理者の指定について

①富士見市立放課後児童クラブ(南ブロック) (賛成多数可決)

《指定管理者となる団体》

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

《指定期間》

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

②富士見市立放課後児童クラブ(北ブロック) (賛成多数可決)

《指定管理者となる団体》

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

《指定期間》

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

議案第111号

工事変更請負契約の締結について[市立水谷中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)] (全会一致可決)

《請負金額》

変更前…4億8,419万3,600円

変更後…4億8,841万5,400円

(422万1,800円の増額)

《請負業者》

三ツ和総合建設業協同組合埼玉西支店

議案第112号

工事変更請負契約の締結について[市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)] (全会一致可決)

《請負金額》

変更前…2億4,640万6,600円

変更後…2億5,499万8,700円

(859万2,100円の増額)

《請負業者》

斎藤工業株式会社埼玉西営業所

議案第113号

令和7年度富士見市一般会計補正予算(第5号) (全会一致可決)

児童手当支給対象児童1人につき、物価高対応子育て応援手当2万円を支給するため、既定の予算に3億5,225万2,000円を増額し、予算の総額を442億4,290万9,000円とするものです。

富士見市議会出前講座を行いました

令和7年10月28日に、富士見市議会と埼玉県立富士見高等学校との協働事業として、富士見高等学校体育館において「富士見市議会出前講座」を実施しました。

今年度出前講座では、生徒の皆さんに楽しみながら議会のしくみについて理解を深めてもらえるように、マルバツ(○×)クイズを含めながら実施しました。

《参加生徒》

1年生及び2年生全生徒

《主な内容》

・令和6年度の協働事業参加生徒による発表

・出前講座「市議会について」(広報広聴委員会)



議員研修会を行いました

令和7年11月12日、一般社団法人Maniken代表理事の中村健氏を講師として招き、「5年後の富士見市議会の姿」をテーマに研修会を行いました。

この研修会では、地方議会議員に必要な政策立案能力、DXを活用した情報収集等の方法、住民参画を促す取組、「議会改革度調査」から見た富士見市議会などについて講義を受けました。

